

科目名	作業療法概論	担当教員	仙石泰仁 ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	--------	------	--------------------------

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
作業療法学専攻	専門科目	選択	1年次	前期	1単位	講義

科目概要	作業療法は、その対象、領域、手段が多岐にわたるが、全てに共通していることは、対象者の意味のある作業の獲得によって、人類の福祉に貢献することを目的としている点である。意味のある作業は対象者個人により異なり、対象者の生活史を把握するためには豊かな人間性が必要となってくる。本科目では、作業療法の評価や治療のプロセスや各領域のアウトラインを理解し、社会に奉仕し得る作業療法を学ぶ学生としての使命感の自覚を促す。
学習目標	① 作業療法士としての資質と適性について理解する。 ② 作業療法の定義、歴史、理論を理解する。 ③ 作業療法の実践過程、領域、病期を理解する。 ④ 現在の作業療法の課題を理解する。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	ガイダンス 日本の医療制度 とリハビリテー ション	日本の医療制度と作業療法の変遷	日本の医療制度の概要を理解する。 医療の中での作業療法の役割を知る。	
2	社会構造と作業 療法	日本の社会構造と作業療法との関連	国際比較の中で日本の社会構造の特徴を知る。 社会構造と作業療法の接点を知る。	
3	障がい者の生活 と自立	障がい者の生活実態を学び自立について考 察する。	障がい者の生活実態を知る。 障がい者に対する作業療法の果たすべき役割につ いて知る。	
4	作業療法の理論 1	作業療法の学問的基礎	作業療法士の学問的基盤について理解する。	
5	作業療法の理論 2	作業療法の歴史と様々な理論体系	作業療法の理論についてその歴史との関連から理 解する。	
6	作業療法におけ る評価の基礎 1	ヒトに関する評価の基礎	身体機能や精神機能の評価の概要について知る。 評価を行う際の作業療法士の役割と責任について 知る。	
7	作業療法におけ る評価の基礎 2	ヒトに関する評価の基礎	実際に評価を実施してその解釈方法や測定の意義 について学ぶ。	
8	作業療法の実際	様々な疾患に対する作業療法の現状と今後の 課題	作業療法の現状と今後の課題を理解する。	
評価方法		筆記試験		
教科図書		杉原素子・編『作業療法学全書第1巻改訂第3版作業療法概論』協同医書出版社、2012年		
参考図書		講義で紹介する。		
学習の準備		大学生としての学習姿勢を身につけ、主体的な講義への参加が求められる。		
オフィスアワー		講義日のみ対応する。		
担当教員欄に※印を 附した教員の実務経 験				